

あすなる 夢建築



主催

大阪府 公益社団法人 大阪府建築士会 大阪府住宅供給公社

後援

大阪府教育委員会 一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

協賛

一般社団法人 日本建築協会	一般社団法人 大阪府建築士事務所協会
公益社団法人 日本建築家協会近畿支部	一般財団法人 大阪建築防災センター
一般財団法人 日本建築総合試験所	一般社団法人 公共建築協会
一般社団法人 大阪府設備設計事務所協会	公益社団法人 日本建築積算協会関西支部
公益財団法人 建築技術教育普及センター近畿支部	

第24回 入選作品集
テーマ：共に生きる
大阪府営羽曳野古市集会所

「あすなる夢建築」大阪府公共建築設計コンクール事務局

大阪府住宅まちづくり部公共建築室計画課

〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 TEL:06-6941-0351(代表)

平成27年3月発行

コンクール概要

このコンクールは、小規模な公共建築物を題材とした実践教育の場を提供することにより、将来の建築技術者の育成を図るとともに、永く府民に愛され親しまれる公共建築づくりを推進することを目的として、大阪府内に所在する建築関連学科のある工業高校や専修学校等に在籍する学生・生徒から提案を募集し、グランプリに選定された作品の提案趣旨を活かして事業化を行うものです。

テーマ

共に生きる
—大阪府宮羽曳野古市住宅集会所—

主な設計条件

所在地：羽曳野市南古市2丁目13-7
計画地面積：約442.5㎡
床面積：150㎡～170㎡
構造・規模：鉄筋コンクリート造 平屋建て1棟

作品受付期間

平成27年1月7日(水)～1月13日(火)

応募状況

応募校数：14校
応募作品数：184点(うち 第1部25点、第2部159点)
応募者数：215人(うち 第1部30人、第2部185人)

第1部	第2部
大阪市立都島工業高等学校	大阪建設専門学校
大阪府立今宮工科高等学校	大阪工業技術専門学校
大阪府立西野田工科高等学校	大阪市立デザイン教育研究所
大阪府立布施工科高等学校	大阪府立北大阪高等職業技術専門学校
岸和田市立産業高等学校	大阪府立大学工業高等専門学校
	修成建設専門学校
	中央工学校 OSAKA
	日本理工情報専門学校

応募資格

大阪府内に所在する学校のうち、学校教育法の規定による工業高等学校(工科高等学校)・短期大学・工業高等専門学校・専修学校・各種学校・高等職業技術専門校の建築関連学科に在籍する学生・生徒であり、個人又は3名以下のグループ。

募集区分

第1部：工業高等学校(工科高等学校)に在籍する生徒
第2部：短期大学・工業高等専門学校・専修学校・各種学校・高等職業技術専門校に在籍する学生

入選作品と賞

グランプリ1点、準グランプリ1点、優秀作品賞2点、佳作3点、奨励賞2点の計9点を入選作品として選出。
ただし、第1部と第2部からそれぞれ2点以上の入選作品を選出することとした。

表彰式・プレゼンテーション

日時：平成27年3月19日(木)
場所：大阪府咲洲庁舎 23階 中会議室

作品展示

場所及び期間
(1) 大阪府咲洲庁舎 1階ロビー
平成27年2月13日(金)～2月27日(金)
(2) 大阪府庁本館 1階ロビー
平成27年3月3日(火)～3月13日(金)



審査委員

【審査委員長】
大坪 明
(武庫川女子大学生活環境学部生活環境学科教授)

【審査委員】
福原 和則
(大阪工業大学工学部空間デザイン学科教授)

加我 宏之
(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科准教授)

井上 久実
(井上久実設計室代表)

多田 純治
(大阪府住宅まちづくり部住宅経営室住宅整備課長)

松田 浩三
(大阪府住宅まちづくり部公共建築室長)

総評 審査委員長 大坪 明

本年度も、昨年とほぼ同数の200点近い応募をいただき、本コンクールが定着してきたという手応えを感じています。工業高校の部、専修学校等の部の其々で、十分に検討が加えられた作品があり、単にデザインだけでなく使い勝手や維持管理面の現実に配慮をした提案をご提示していただいたことは、「現実に使われるものとしての建築」と向き合う姿勢が感じられます。しかしまた、若者らしい冒険心に満ちた作品が若干少なかった点に、寂しさも感じています。また、昨年も申し上げたことですが、建築が置かれる周囲の状況をあまり考慮せず、敷地の中だけで案を考えたのであろうと思える作品も少なからずあったことは、残念ではありません。建築は、場所の特性に応じて考えられるべきものであり、その敷地と周囲の状況を十分に理解し、それを手がかりにした案づくりを、ぜひ心がけていただきたいと思います。

最後になりますが、本紙面を拝借して、入賞された皆様へのお祝いと、このコンクールに作品を提出された皆様、そしてそのご指導に当たられた先生方のご努力に対する御礼を申し上げる次第でございます。

安岡 三四郎 作品(グランプリ)

北西に広場、南西にデッキやテラスを配置することにより、集会所と団地内動線、保育園との関係を十分に考慮した配置計画に優れた作品である。各室の配置もシンプルで使いやすい動線となっており、非常に機能的な計画である。集会室奥へのハイサイドライトからの自然採光や西陽対策のパーゴラの設置等環境面にも配慮されている。加えて、設計主旨を詳細に示した質の高いプレゼンテーションにも感心する。プランに無駄がなく実現可能性が一番高い計画案となっている。

岩城 和史 作品(準グランプリ)

北西と南西にオープンスペースをうまく配置し、開放的な計画としながらも、コンパクトにまとめている。集会室前のパーゴラにより遊歩道へのつながりが生まれるよう配慮がされている。グランプリに準じる良作であるが、団地内の南北主動線に対する集会室内でのアクティビティーの表出の仕方が弱いものとなっている。

岩本 由香 作品(優秀作品賞)

シンプルな配置とデザインでうまくまとめた計画となっている。集会室や和室と屋外での活動をゆるやかにつなぐウッドデッキや縁側の提案により各室と外のつながりが表現できている。屋根に沿った勾配天井を設けるなどデザイン面での若者らしい大胆さが欲しい。

陳 君賢 作品(優秀作品賞)

南側に設けられた広場に設置されたR形状のベンチやひな壇は、居住者の屋外での出会いや交流を育む装置として興味深い。また、配置計画全体として、少し古墳を連想させるしつらえとなっているようにも思える。団地内の主動線及び保育園の存在を意識した計画及び西陽対策の配慮が課題である。

中澤 信二 作品(佳作)

中庭を囲む回廊式プランは独創的かつ施設全体にまとまりを与えている。玄関を入れて目の前に広がる中庭が、季節感と自然の潤いを感じさせるものである。しかし、実際の維持管理やコスト面に少し課題がある。

中島 智子 作品(佳作)

近くにある竹之内街道や東高野街道の歴史的町並みを鑑み、和風建築に取り組んだ意欲的な作品である。パーゴラと伝統的瓦屋根との意匠上の整合性や、建築コスト面への配慮が欲しい。

日渡 一馬・土井 真琴 作品(佳作)

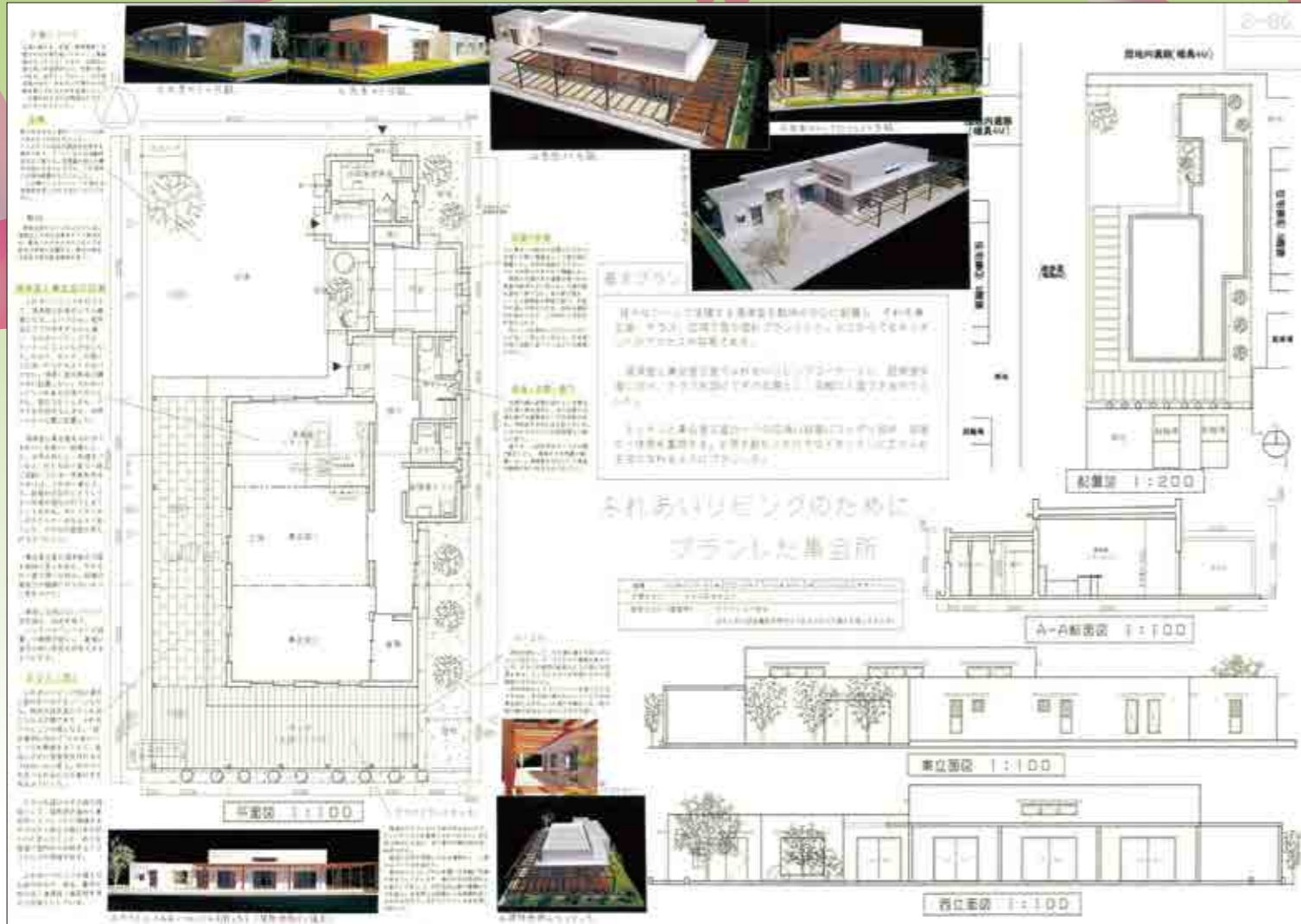
随所に配置された坪庭により、平面に巧みに外部空間を織り交ぜて室内に光を取り込んでいる。玄関正面の樹木がアイストップとなる演出も良い。その反面で外壁面積が多くなり、コスト面での課題がある。

山根 志織 作品(奨励賞)

屋上から壁面を被う緑による優しいファサードを評価した。また、集会室にライブラリーを設けるなど独自提案を試みている。ただし、住民によるメンテナンスに対する配慮が必要である。

VEZHN OVETS ALEXANDRA 作品(奨励賞)

屋根の形状やアプローチの高低差が工夫されている斬新な案。実現性はともかく、積極的に独創的なアイデアを提案したチャレンジ精神を評価した。しかし、プランや配置に関しては諸条件を十分に吟味してほしい。



グランプリ

安岡 三四郎 修成建設専門学校 1年

ふれあいリビングのためにプランした集会所

様々なシーンで活躍する湯沸室を敷地の中心に配置し、それを集会室、テラス、広場で取り囲むプランとした。どこからでもキッチンへのアクセスが容易である。

湯沸室と集会室2室でふれあいリビングコーナーとし、西側遊歩道に向け、テラスを設けてその玄関とし、気軽に入室できる作りとした。

キッチンと集会室2室は一つの四角い部屋にスッポリ収め、部屋の一体感を重視する。お茶を飲む人だけでなく、キッチンに立つ人も主役になれるようプランした。



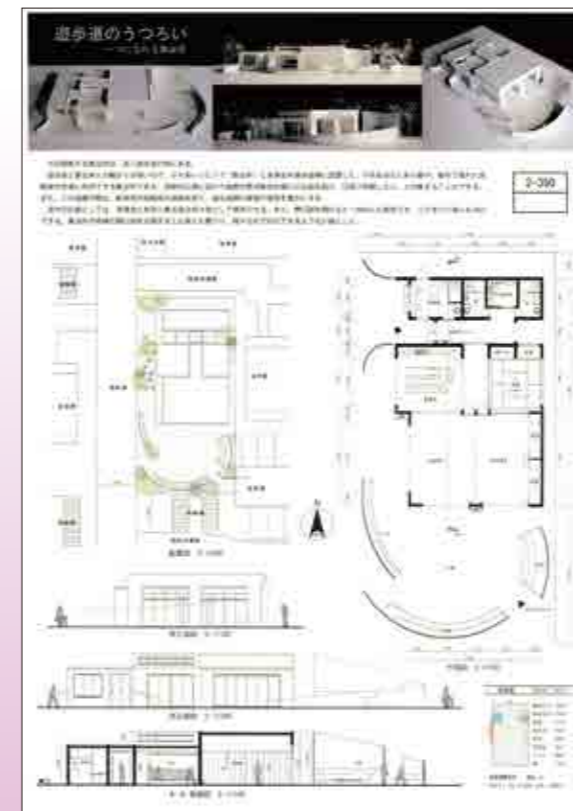
準グランプリ 岩城 和史
修成建設専門学校 2年
自然と集うみんなの居場所

集会室と遊歩道をつなぐ外部空間は、集会室の延長としてのオープンスペースでもあり、拡張した遊歩道の一部でもある。遊歩道を歩く住民たちは、このゆるやかな外部空間を介して、自然に集会所の中の様子を感じることができる。北側のテラスは、集会室と湯沸室の両方からアクセスできるので、天気の良いときには「ふれあいリビング」を外で開催しても、みんなが一体感を持って楽しめるようになっている。各室を利用し易いシンプルなプランだが、多様な空間を持つ集会所が実現する。



優秀作品賞 岩本 由香
大阪市立都島工業高等学校 3年
気楽に繋がりを持てる空間〜四季折々〜

人と繋がりが優しく包んでくれる存在の集会所になるように考えました。玄関からすぐに集会室に入る扉で高齢者や車いすの方に短い距離で入ってもらえるようにしました。集会室は、窓を大きく開けて光や風などを取り込めます。中の様子が見えるので、気軽に入ってもらえます。湯沸室は、部屋のどこにいても使用できます。鍵がなくても、ウッドデッキや、縁側やベンチに座ることができ、いつでも話し合え、ゲームをしたりできる場所になります。ウッドデッキを囲んでいる柱はすだれなどをかけて快適に過ごしてもらえます。木を縁側やウッドデッキから見れるので、春は花が咲き、夏は緑の葉、秋は紅葉、冬はイルミネーションなどをして四季を感じることができます。人と人が触れ合え、共に生き活きた時間を過ごせるようになればと思います。(一部抜粋)



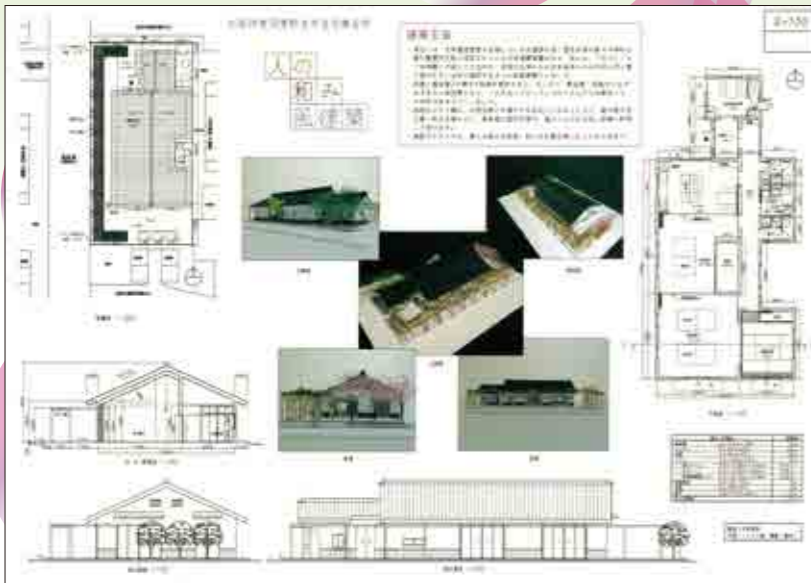
優秀作品賞 陳 君賢
中央工学校 OSAKA 1年
遊歩道のうつろい 一つになれる場所

今回提案する集会所は、長い遊歩道の傍にある。遊歩道と集会所との繋がりが強いので、ふれあいリビング（集会所）と湯沸室を遊歩道側に設置した。子供を迎えに来た親や、散歩で疲れた高齢者が気楽に利用できる集会所である。南側の広場に設けた曲線の壁は集会所側にひな段を設け、日陰で休憩したり、人が集まることができる。また、この曲線の壁は、駐車場や駐輪場の視線を遮り、遊歩道側の建物の表情を豊かにする。室内の計画としては、湯沸室と和室と集会室は各々独立して使用できる。また、開口部を開けると一体的にも使用でき、人の多い行事にも対応できる。集会所の南側の開口部を全開すると広場とも繋がり、様々な形で対応できるような計画とした。



佳作 中澤 信二
 大阪市立都島工業高等学校 3年
人と自然の集会所

この集会所のコンセプトはタイトルにもあるように、自然と人です。
 この集会所には中庭とウッドデッキがあります。中庭は1本のシンボルツリーがあり、その木陰ですることができます。また、完全に集会所の内部に作ることで、間違った使い方をされずに済みます。中庭の角を削ることによって車いすのかたでも行動がしやすいようにしました。
 その中庭とは対照的にウッドデッキは南側に設けて開放的なようにしました。



佳作 中島 智子
 修成建設専門学校 1年
人の和 和み 和風建築

周辺には、世界遺産登録を目指している古墳群や長い歴史を誇る数々の神社仏閣や重要文化財に指定されている日本建築家屋があり、秋には、「だんじり」や「お神輿」が街にくり出され、日本の古来からの古き良きものが大切に守り受け継がれている街に調和するように和風建築にしました。
 和室と集会室2の間の4枚扉を開放すると、キッチン・集会室・和室がつながる大きな一体空間となり、「ふれあいリビング」でたくさんの人が集まっても対応できるようにしました。
 西面のぶどう棚は、外部空間との穏やかな区切りになるとともに、葉や実が茂る春～秋は木陰となり、集会室の西日対策や、道行く人の立ち話し空間に利用して頂けます。
 南面のテラスでは、春には桜のお花見、秋には紅葉を楽しむことができます。



佳作 日渡 一馬・土井 真琴
 大阪総合デザイン専門学校 2年
ひかりの庭

近くに住むお年寄りや、親子連れなど多くの方が利用したいと思えるような集会所を考えたときに、遊歩道から見て集会所の中の様子が分かって、気軽に中に入りやすいのではないかと考えた。
 また各室の用途に応じて窓が多く集会所の中と外の境界線を感じさせないプラン。
 さらに集会所内部も壁を出来るだけ少なくすることで、キッチン・集会室・庭を一つの空間として使えるので、広々と「ひかりの庭」を楽しむことができる。



奨励賞 山根 志織
 大阪工業技術専門学校 1年
地域住民のための優しい空間

機能重視の集会所に親しみやすさをプラスし、利用しやすい優しい空間づくり
 立地条件による周辺建物の影響で有効な明るさが確保できないため南側に窓を大きく取りました。西側の壁は一部を緑化することで殺風景になりがちな外観が優しくなりました。また、屋上の緑化もできるような陸屋根にし、省エネ効果やヒートアイランド緩和効果などの期待ができます。
 入口にはスロープを配置、ベビーカーや車いすの方たちも入りやすくし、バリアフリーの玄関と廊下は、一目で見てわかるように床仕上げで境界を分けました。憩いの場として静かに読書したりほっと一息つけるように、集会室にはライブラリーを、和室には縁側をつくりました。(一部抜粋)



奨励賞 VEZHNOVETS ALEXANDRA
 修成建設専門学校 1年
おりがみの下の休息場所

これは古市の中にある高齢者や若者のための建物です。
 地域の祭りや集会のために使います。
 建物はおりがみ状の屋根があり、ウッドテラスとプラットフォームもあります。
 そのプラットフォームには階段状のベンチがあり、その周りに花壇があります。
 プラットフォームの下には休息のためにベンチがあります。
 集会室には日当たりのために大きい窓があり、その窓に木のパターンがあります。
 そのパターンは2つの理由があります。
 1つには、ウッドの素材感はテラスとプラットフォームで使っているの大きい窓にもそのイメージを使っています。
 2つ目は、窓を見る人が安心感を感じます。



作品展示

大阪府咲洲庁舎 1階ロビー
 平成27年2月13日(金)～2月27日(金)